

〔国際会議発表〕

発表研究者	東京電機大学 理工学部 理工学科 研究員 鈴木 志歩	2232002
参加会議	45 th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC2023)	
開催場所	シドニー・オーストラリア	
出張期間	2023 年 7 月 23 日～7 月 28 日（6 日間）	
発表論文	A study of the relationship of hypertension to LDL concentration in retinal arteriosclerosis	

概要：

日本でプラーク蓄積のモデル化研究に取り組んでいるのは我々だけであり、日本国内でこの研究分野の動向を知ることは困難です。一方で心血管等の大きな血管のプラーク蓄積を研究するグループは海外に複数存在しています。そのため国際会議への参加は、最新の研究成果やトレンドを知る絶好の機会でした。我々の研究が飛躍的に発展するためには、国際学会での発表によりコメントやフィードバックを得て、自らの研究に反映させることや、最新の研究成果を取り入れることが必要となってくるため、国際会議に参加しました。

国際会議に参加できたことで得られた成果として、3つほどあります。

1. 最新の研究成果にアクセスできる

私の研究はプラーク蓄積のモデル化に関するもので、国際会議ではこの分野の最新の研究成果を発表および共有するプラットフォームに関する情報提供がありました。これにより、私は他の研究者の最新の成果を知り、自身の研究モデルを改善し、さらに洗練させる機会を得ることができました。

2. ネットワークの構築

私の研究分野は日本ではあまり研究されていないため、カンファレンスに参加することで、同分野の研究者とのコミュニケーションの機会を得ることができました。これは、私が若手で経験が少ないために特に重要であり、このような機会を頂いたことで、最新のトレンドやアプローチを学ぶ機会を得ることが出来ました。

3. 新たなアイデアの着想

研究発表を行い、国際会議では異なる背景やアプローチを持つ研究者と交流したことで、新しい研究の方向性やヒント・新しいアイデアを得ることができ、研究の幅を広げることができました。